

## 2 具体的な取り組み

肥前鹿島干潟の環境を保全・再生するには、流域である後背地の森、里、川、干潟、海、これらをつなぐ水の有機的な繋がりを日頃より意識する必要があります。流域全体を視野に入れ、「保全・再生―守り育てる―」、「ワイズユース（賢明な利用）―賢く使い続ける―」、「交流・学習―理解し、市民に広げる―」の3つの視点・分野からの取り組みを並行して実施します。

### 計画を進めるための取り組みの姿勢

「森・里・川・干潟・海」でつながる鹿島市の自然を

保全・再生

守り育てることが有明海、ひいては干潟の環境を守ることにつながる。

ワイズユース

賢く使い続けていくことで、長期的に有明海、ひいては干潟の環境を守ることにつながる。

交流・学習

理解し、市民に広げることが有明海、ひいては干潟の環境を守ることにつながる。

#### 新規に導入する取り組み①

##### 保全再生の方針決定

保全・再生の方針検討、環境監視、評価の方法・体制の確立を目標に、有明海の異変の原因解明のための専門部会の設置、必要な環境データの集積を行います。特にデータの不足している“有明海の海域調査と干潟の底生生物調査”に優先的に取り組みます。

#### 新規に導入する取り組み②

##### 森・里・川・干潟・海の保全（後背農地との一体的な自然環境保全）

人と自然との共生を目指し、ノリを食害するカモ類との共存の方法を検討することで、被害の軽減を目指します。また、冬季の湿田化により鳥類の生息環境の創出を図り、後背農地との一体的な自然環境の保全の可能性を検討します。



#### 新規に導入する取り組み④

##### 干潟資源の利用（観光商品の開発）

観光客をはじめとする鹿島市来訪者への干潟の魅力のアピールし、満喫してもらうための観光商品の開発を行います。有明海の自然・生き物に関連するグッズや特産品の開発の他、大人を対象とした観光地としての仕掛けづくり、ツアーコースの開発など、各種しくみの整備を進めます。

#### 新規に導入する取り組み⑥

##### 拠点施設の整備

干潟を中心とした各種活動のための拠点施設「道の駅鹿島」の再整備、干潟交流館を新設します。シャワー室、更衣室などの拡大・新設、展示施設、ミニ水族館や学習室の充実のほか、干潟体験、伝統漁体験、干潟学習メニューなど更なる環境学習機能の充実を図ります。



#### 新規に導入する取り組み③

##### 森・里・川・干潟・海の保全（流域環境の保全）

鹿島市の豊かな自然環境を守り育て、これを活用していくために、自然環境保全の推進や観光素材として活用できる自然環境の磨き上げを行う団体に対して、補助制度の運用を行います。



#### 新規に導入する取り組み⑤

##### 肥前鹿島干潟の登録地整備

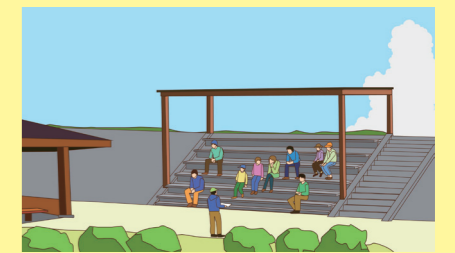
鳥類等の生物資源を損なうことなく、多くの人に自然とふれあう機会を提供するためのしくみや施設の整備を行います。野鳥観察のためのインフラ整備、駐車場・トイレ等を兼ね備えた干潟農村公園の整備、登録地までの道路整備を検討します。



#### 新規に導入する取り組み⑦

##### 学習プログラムの整備

子供たちの環境意識の向上を図るため、学校現場での教育の一環として、肥前鹿島干潟の学習プログラムの検討（干潟案内人養成講座の講師派遣を含む）や環境の教育読本を作成します。



#### 新規に導入する取り組み⑧

##### 有明海に関わる地域の連携強化

肥前鹿島干潟の環境を考えるには、有明海全体の環境を捉える視野の広さが必要です。また、環境保全活動を周辺の関係自治体に広げていく必要もあります。そのための核として、有明海沿岸でラムサール登録湿地を有する荒尾市、佐賀市、鹿島市が先導的な役割を担っていくとともに、近隣の市町にも働きかけをしていきます。

### 計画の視点・分野

### 取り組み方針

### 取り組みの区分

保全・再生  
―守り育てる―

保全再生の方針決定

- ・ 保全再生の方針検討、環境監視、評価の方法・体制の確立
- ・ 環境状況の把握とデータの集積
- ・ 有明海の異変の原因解明と対策・対応
- ・ 国、県、関係市町との広域連携

森・里・川・干潟・海の保全

- ・ 荒廃人工林の整備・自然林の保全
- ・ 後背農地との一体的な自然環境保全
- ・ 流域環境の保全
- ・ 水質負荷の削減
- ・ 河川環境のモニタリング
- ・ ラムサール条約登録地の拡大

有明海の再生

- ・ 貝類等の有用漁業生物の再生

肥前鹿島干潟の登録地整備

- ・ 登録地の整備

ワイズユース  
（賢明な利用）  
―賢く使い続ける―

漁業・農業資源の利用

- ・ 地産地消の推進
- ・ ラムサールブランド商品の開発
- ・ 野鳥の食害等への対応
- ・ 漁業・農業などの産業との共存

干潟資源の利用

- ・ 観光商品の開発
- ・ 干潟の魅力の情報発信
- ・ 循環型社会形成のための研究

交流・学習  
―理解し、市民に広げる―

拠点施設の整備

- ・ 拠点施設の整備検討

学習プログラムの整備

- ・ 肥前鹿島干潟の市民への浸透
- ・ 市内部、外部への情報発信

有明海に関わる地域の連携強化

- ・ 有明海沿岸におけるラムサール条約登録3湿地（荒尾、東よか、肥前鹿島）などとの連携